

令和8年度 事業計画書

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日

第1章

2026年(令和8年)度 基本方針・活動方針・目標

2026年度 福島市DMO 基本方針

「量から質へ」のシフト。確かな経済効果と持続的な 地域の発展で描く、ふくしまの新たな観光経営

2030年を見据えた「VISION2030(観光地経営戦略)」において、今年度(2026年度)は5カ年計画の初年度にあたる重要な年です。今年度は、VISION2025期間中に得た成果や課題、数値を基盤としつつ、労働力不足やデジタル化の波といった新たな課題に対応するため、「量から質へ」のシフトを基本方針とします。消耗戦から脱却し、「持続可能な外貨獲得」と「内発循環」のバランスが取れた地域づくりを目指します。

具体的な指針として、以下の「3つの柱」と「5つの戦略方針」を掛け合わせた事業を推進します。

3つの柱(基本方針)

- “**紡ぎ**”：ふくしまの強み(花、温泉、食など)を磨き上げ、「点」を「線」にする誘客の推進
- “**繋げ**”：インバウンド需要や多様化する価値観に加え、的確に届く誘客の展開
- “**継ぐ**”：自然・歴史の保全、市民の理解促進、観光人材の育成を通じた持続可能な地域づくり

5つの戦略方針

「外貨獲得」「内発循環」「関係人口拡大」「認知・理解・共感獲得」「社会課題解決」

私たちがこれまで取り組んできたVISION2025の理念は全く変わりません。これまでの礎を糧にさらに新たなビジョンに向かって取り組んでいきましょう。

2026年度 福島市DMO 活動方針

私たち福島市DMOは、「槍の穂先CSV集団」として、高度なデータ分析(Think)と現場での迅速な実践(Do)を両輪とし、社会課題解決と経済効果創出の両立を目指すプロフェッショナル集団を目指します。

外貨獲得

地域で消費・購入・寄付を生み出す仕組みづくり

- 消耗戦から脱却し、「持続可能な外貨獲得」へとシフトするために、地域商材の高付加価値化と積極的な経済効果の取り込みを行います。
- 温泉・果樹文化の高付加価値化：ふくしま三名湯を中心とする温泉文化の発展と旅館施設の高付加価値化を支援します。また、「桃」を中心とした果樹文化の観光コンテンツ化(ふくしまピーチホリデイの体験コンテンツ造成)を強化し、「ピーチホリデイ」のスキーム拡大と世界進出を図ります。
- 自然環境アクティビティの開発：浄土平や磐梯吾妻スカイラインなどの圧倒的な景観を活かしたアクティビティやガイドツアーの開発と、二次交通環境の整備を進めます。
- MICE誘致の強化：国際会議等のMICE誘致を推進し、大きな経済効果と「世界の知」の地域への波及を図ります。

内発循環

地域に利益を還元し、ビジネスを成長させる仕組みづくり

- 獲得した外貨を地域内で循環させ、事業者と競合しないイノベーションやビジネスモデルを創出します。
- 一気通貫型の運営体制構築：地域の観光資源の掘り起こしから商流へ届けるまでを、一気通貫でサポートする体制を構築します。
- 事業者の経営多角化支援：果樹加工など、観光を通じた経営の多角化を支援し、地域のビジネスを成長させます。
- 新たな価値の創出(無価値の価値化)：地域内での学びの機会としての観光コンテンツ開発など、市民の日常にあるものを高付加価値化するビジネスモデルを展開します。
- 安定財源とエコシステムの構築：急激な社会変化に耐えうるDMO組織を維持するため、安定的な財源の確保に向けた検討を進めます。

2026年度 福島市DMO 活動方針

関係人口拡大

共感に基づく来訪・消費・投資人口を増やす仕掛けづくり

- 単なる観光客にとどまらない、福島市への“共感”を持ったファンプール・タレントプールを創出し、拡大させます。
- ふるさと納税を活用した関係人口創出：ふるさと納税を介した物産振興を強化し、隠れた魅力の発掘と情報発信を行うことで、関係人口プールの拡充につなげます。
- 探究活動の支援：福島市をフィールドとした大学機関などの探究活動を積極的に推進し、継続的な関わりを持つ人材を育成します。
- 地域文化のコンテンツ化：地域の祭事などを観光コンテンツ化することで、魅力の発信と来訪意欲(共感来訪)の醸成を促進します。

認知・理解・共感獲得

的確な情報発信と消費ジャーニーの構築

- ターゲットに的確に届く情報発信を展開し、認知から共感、そして実際の行動(来訪・消費)へとつながる導線を作ります。
- 「福島市観光ノート」の最大活用：年間450万PVを誇る当協会のWEBメディアのコンテンツをさらに拡充させ、SNSや宿泊OTA等での会員獲得を強化します。
- ハイタッチ型おもてなしとの融合：WEBやロケツーリズムによる発信媒体での認知拡大と、福島市観光案内所での対面(ハイタッチ型)のおもてなしを融合させます。
- 風評払拭とイメージ戦略：世界の中の“FUKUSHIMA”の風評払拭に努め、観光地域としてのイメージ戦略をさらに拡充します。
- 万全な受入体制の整備：ふくしまバリアフリーツアーセンターを中心に、年齢や障がい、国籍などを問わず、あらゆる人が訪れたいと思えるハード・ソフト両面での環境整備を進めます。

これらの施策の実行にあたっては、「勘と経験」だけでなくデータに基づく仮説検証(観光DX)を重視し、得られたデータや成果は地域の事業者や市民へ還元していくことが私たちDMOの重要な役割となります。

2026年度 福島市DMO 目標値【KGI・KPI】

2026年度KGI(最終成果指標)

- **旅行消費額: 191.3億円** (2024年175億円)
- **経済波及効果: 目標値未定**
(観光庁から発出予定の評価ツールの活用を想定し、
2026年度中に算定方法を設計予定)
- **地域貢献ROI: 10.0**

2026年度 福島市DMO 目標値【KGI・KPI】

2026年度KPI(KSF分類別)

【消費単価の向上】

- 1人あたり旅行消費額: 32,142円 (2025年:31,928円)
- 開発を支援した旅行商品・コンテンツの売上: 目標値未定
(2026年度中に売上集計手法を設計予定)
- マーケティング提供事業者数: 目標値未定
(単なるデータ提供数にとどまらず、実利につながる指標への再設計を検討・設定予定)

【滞在日数の増加】

- 延べ宿泊者数: 64.9万人 (2024年:63.3万人)
- 外国人延べ宿泊者数:4.96万人 (2025年:3.7万人)
- 平均泊数:1.24泊 (2025年:1.18泊)

2026年度 福島市DMO 目標値【KGI・KPI】

2026年度KPI(KSF分類別)

【来訪者数の管理】

- 来訪者満足度／Top Box度：47.86%（2025年:47.33%）
- 広告換算額：目標値未定
（集計方法を確立し、過去実績の整理と2030年目標の設定を2026年度中に実施）
- ウェブサイトアクセス数：459.2万PV（2025年:454万PV）
- リピーター率：73.2%（2025年:72.9%）

【需要の平準化】

- 月別来訪者数の平準化率：目標値未定
（集計方法を確立し、過去実績の整理と2030年目標の設定を2026年度中に実施）
- MICE誘致開催件数：40件（2025年:33件）
- 宿泊施設の稼働率：目標値未定
（集計方法を確立し、過去実績の整理と2030年目標の設定を2026年度中に実施）

2026年度 福島市DMO 目標値【KGI・KPI】

2026年度KPI(KSF分類別)

【環境・歴史・文化の保全】

- 持続可能な観光に対する住民満足度：目標値未定
- GSTC研修受講者数：目標値未定
- 環境・文化保全旅行商品・コンテンツの造成・売上：目標値未定
（集計方法を確立し、過去実績の整理と2030年目標の設定を2026年度中に実施）

【地域への裨益】

- 観光事業者数の平均給与額：目標値未定
- 観光事業者数(会員事業者数)：221事業者（2025年:211事業者）
- 地域製品活用率：目標値未定
- 従業員の域内在住率：目標値未定
- 観光従業者の満足度：目標値未定
- 域外からの観光産業入職者数：目標値未定
（「目標値未定」のKPIについては、集計方法を確立し、過去実績の整理と2030年目標の設定を2026年度中に実施）

2026年度KPI(KSF分類別)

【DMO組織経営】

- 職員の満足度：目標値未定
(外部機関によるアンケート実施、2026年度中に目標値を設定)
- 安定財源確保率：目標値未定
(外部機関によるアンケート等を実施し、2026年度中に目標値を設定)
- 投資回収率(地域貢献ROI)：10.0

2026年度KPI 個別活動評価

- 個別活動の事業評価(地域貢献ROI)：10.0.0

第2章 2026年(令和8年)度 事業計画

令和8年度 福島市観光コンベンション協会 事業計画

戦 略 区 分	個別戦略名称 具体事業	R 8 予算	
		補助対象事業	自主財源事業
	補助対象事業・自主財源事業 総計	16,299,000	24,945,000
1. 外貨獲得		2,600,000	12,950,000
来訪時の消費拡大、 福島市産品の購入拡大の 仕組みづくりと都市部か らの寄付、投資をしても らえる仕組みづくり	1. ふくしまビーチホリデイをフックとした誘客促進 WEBプロモーション、市内周遊企画、アンケート分析、キャンペーン商品	0	5,500,000
	2. 訪日需要拡大を見据えた（アジア）誘客促進 台湾プロモーション、東南アジアプロモーション、観光庁等連携誘客、 インバウンド訪日需要調査、インバウンド誘客促進プロジェクト、 浄土平スカイアクセス販売事業	2,600,000	2,950,000
	3. 女性来訪者の満足度や消費額を上げるための体験商品づくり・ 販売促進 観光コンテンツ化プロジェクト	0	2,000,000
	4. 来訪者が循環する仕組みづくり	0	500,000
	5. デジタル時代の効果的な誘客を支えるデータ収集・解析・分析	0	2,000,000
2. 内発循環		0	3,800,000
地域イノベーションに寄 与するビジネスモデル構 築。獲得外貨の地域循環 の仕組み作りと埋もれた 地域資源の高付加価値 化。担い手とビジネスの 成長に寄与するためのエ コシステムを整える	1. ふるさと納税15億円プロジェクト 返礼品開発、取扱事業者対応力強化事業、寄附誘引活動	0	1,000,000
	2. 生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり 域内小規模供給（配送支援） 域内小規模付加価値向上（商品開発支援）	0	1,800,000
	3. 将来の観光地域づくりの司令塔としてのDMO組織の運営安定化 を見据えた仕組み作り 財源確保を目指した研究活動	0	1,000,000
3. 関係人口拡大		1,000,000	3,500,000
来訪、消費、投資人口を 増やす仕掛け作りとそれ らを実践するためのファン プール・タレントプー ル作り	1. バリアフリーツーリズム 福島市バリアフリーマスタープランに則った活動 バリアフリーコンテンツの造成支援	1,000,000	0
	2. 関係人口拡大支援 観光DXを活用した多様な属性顧客の統一管理 プロモーション施策展開に寄与するCRM管理システム構築	0	2,500,000
	3. 域内外の組織や個人との連携支援 先進事例調査（理論・技術導入） 地図検索サービス等の活用法の事業者への普及教育事業	0	1,000,000
	4. 共創の仕組みづくり 講演会の積極的な実施 会員制度改編と新規会員獲得	0	0
4. 認知・理解・共感獲得		9,699,000	4,695,000
市の認知者・理解者・共 感者を増やす仕掛けづ くり認知～理解～共感か らの行動のジャーニーを作 る。	1. マーケティングに基づく、デジタル～リアルまで通貫した福島市 への認知・理解・共感を意識した交流・関係人口の拡大 「観光ノート」運営 / SNSの更なる機能強化 / 観光案内所の更なる強化 / 利用者発信SNS分析強化 / リアルイベントでの福島市プロモーション / マー ケティング手法の勉強会開催 / 新幹線来訪者へのウェルカム演出（発車メロ ディ使用料） / 市観光ガイドブック等の制作	9,699,000	4,695,000
5. MICE（コンベンション等誘致）		3,000,000	0
1. MICE誘致の基盤整備等	誘致対象コンベンション情報の整備 / 情報発信ツールの整備 / 国内商談会 展示会参加 / 有力コンベンションキーマンへの積極的アプローチ / 国際組 織との連携 / ユニークベニューの開発 / 文化スポーツMICE誘致支援	3,000,000	0

戦略区分：外貨獲得

1. ふくしまビーチホリデイをフックとした誘客促進		事業費計	補助対象	自主財源
2022年に開始した「ふくしまビーチホリデイ」。5年計画の初年度見込みを大きく上回る成果を上げたものの、生産者側・飲食店側等のポテンシャルや課題まだ多い。		5,500,000	0	5,500,000
(1) 非イベント型キャンペーン：ふくしまビーチホリデイ～アップルホリデイ				
非イベント型集客・循環キャンペーンと位置付けているふくしまビーチホリデイ、桃を起点とした新たなビジネスの同時多発的展開を実施する。桃・りんごの以外の果物への横展開を計画し、生産者支援と飲食店連携が春～冬まで継続的に続く仕組みづくりを目指す。 WEBプロモーション、市内周遊企画、キャンペーン商品、アンケート分析、案内所でのリアルプロモーション装飾など <YOUTUBE・LINE広告、シールラリー、加盟店グッズ製作、雑費>	事業費	補助対象	自主財源	
	5,500,000	0%	100%	
		0	5,500,000	
2. 訪日需要拡大を見据えた（アジア）誘客促進		事業費計	補助対象	自主財源
2022年に開始した「ふくしまビーチホリデイ」。5年計画の初年度見込みを大きく上回る成果を上げたものの、生産者側・飲食店側等のポテンシャルや課題まだ多い。		5,550,000	2,600,000	2,950,000
(1) 台湾に対するプロモーション				
商談会やセールスコールによる旅行会社向け「BtoB」戦略、イベント出店での「BtoC」戦略を続けてきたが、R8年度は、台湾向けHPやSNSを活用したプロモーション施策を展開。	事業費	補助対象	自主財源	
	2,000,000	50%	50%	
		1,000,000	1,000,000	
(2) 東南アジアエリア（タイ）を中心としたインバウンドプロモーションと需要調査				
冬季の仙台空港直行便就航が確定したバンコク路線からの誘客を目的としてタイ市場でのプロモーション。主に7月仙台市主催の首長ミッションへ参加によるキーエージェントとの商談、11月JNTO主催FITフェアへの出展と商談会参加。	事業費	補助対象	自主財源	
	1,000,000	50%	50%	
		500,000	500,000	
(3) 訪日外国人向け需要アンケート調査（外国人版ありがとうキャンペーン）				
訪日外国人の訪日需要調査を行う。具体的には、宿泊施設を起点としたリアル（対面）でのヒアリングに加え、宿泊施設に泊まっている外国人を対象としたWEBアンケート等を行う。それら需要調査から市としての課題を抽出し有効な改善提案手法を検討する。	事業費	補助対象	自主財源	
	500,000	0%	100%	
		0	500,000	
(4) 観光庁・JNTO・東北観光推進機構と連携したアジア誘客				
観光庁・JNTO・東北観光推進機構と連携したアジア誘客を行う。東北観光DMPデータの活用での観光客動態データ分析。	事業費	補助対象	自主財源	
	50,000	0%	100%	
		0	50,000	
(5) 市内の魅力ある素材観光コンテンツ化プロジェクト				
これまで様々な場面で、市内の魅力を代表する素材を扱ってきたものの、旅行商品/コンテンツとして4Pを意識した造成～販売の仕組みをきちんと整えていなかったため、うまく商流に載せきれていないケースが多々あった。そこで、今年度は、「素材」をきちんとした「商品」まで整え、販売を通じたPDCAサイクルを構築する	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	
(6) 福島市インバウンド誘客促進プロジェクト				
海外からの誘客促進のため、福島市内に宿泊する旅行を企画した旅行会社へ支援金を支給する	事業費	補助対象	自主財源	
	2,000,000	55%	45%	
		1,100,000	900,000	
(7) 浄土平二次交通実証事業				
実施2年目。基本方針として、事業単独での黒字化を目指すことが前提。ただし、需要喚起及び周知拡大のための広告などを実施する費用については、適宜、予算投下	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	

戦略区分：内発循環

1. ふるさと納税20億円プロジェクト <内発循環>		事業費計	補助対象	自主財源
未来への投資的事業などの安定的財源確保が年々厳しさを増す行財政状況において、事業者にとって新たなビジネスチャンス拡大やビジネスモデルの実証、新たな顧客獲得が可能なふるさと納税制度を積極的に活用する。		1,000,000	0	1,000,000
(1) ふるさと納税向け返礼品開発				
都市部で生活する女性向けの返礼品の作り方、魅せ方、販売の仕方、フォローの仕方、共感のされ方、拡散のされ方を、個人個人にフォーカスしたマーケティング手法をベースに開発支援を連続展開する。	事業費	補助対象	自主財源	
	350,000	0%	100%	
		0	350,000	
(2) ふるさと納税を活用した事業者の新たなビジネスモデル創造支援				
都市部で生活する女性向けの返礼品の作り方、魅せ方、販売の仕方、フォローの仕方、共感のされ方、拡散のされ方を、個人個人にフォーカスしたマーケティング手法をベースにビジネスモデルとして確立してもらうための支援を実施する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	
(3) ふるさと納税満足度検証（デジタルアンケート）				
ふるさと納税寄付者と来訪意欲醸成の強い相関性の検証を軸に、協会の対応品質向上等を検証するための満足度調査を毎年実施する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	
(4) 返礼品取扱い事業者の対応力強化				
寄付者の気持ちにしっかりと伝わるお礼状や商品紹介を軸に、各事業者に整備を進めてもらうための支援をする。事業者への女性視点マーケティングの研修を開催する<研修開催時の講師謝金（3回）>	事業費	補助対象	自主財源	
	150,000	0%	100%	
		0	150,000	
(5) 寄付誘引活動				
他のタレントプールと同様に散逸しているタレントプールを統合し、属性別に再整理の上で、来訪・消費・投資・支援活動等に繋げられるよう顧客との関係深化を目的とした管理手法を講じる。 <会員向け『心のこもった御礼の手紙』（50000件×10円）、ふるさと納税事業者向けオンラインリリース集中発信（11月上旬～12月上旬10本）>	事業費	補助対象	自主財源	
	500,000	0%	100%	
		0	500,000	
2. 生産者から飲食事業者への果実規格外品供給仕組みづくり				
域内小規模サプライチェーンの欠如が認められたことから、現実的問題解消の足掛かりとして、フルーツに関するサプライチェーンの安定化を企図する。		事業費計	補助対象	自主財源
		1,800,000	0	1,800,000
(1) 域内小規模供給仕組みづくり（配送支援）				
桃を中心としたフルーツ（規格外品）を、市内飲食事業者に安定供給するための支援を実施する。	事業費	補助対象	自主財源	
	1,300,000	0%	100%	
		0	1,300,000	
(2) 域内小規模付加価値向上仕組みづくり（商品開発支援）				
桃をはじめとした福島市産果物（規格外品）を活用したスイーツのさらなる創出を目的として、事業者同士の強みを融合するような新しいバリューを出現させる。	事業費	補助対象	自主財源	
	500,000	0%	100%	
		0	500,000	
3. 将来の観光地域づくりの司令塔としてのDMO組織の運営安定化を見据えた仕組みづくり				
DMO組織が地域の観光を通じたトップリーダーとして活動を続けるためには、安定した基盤を構築する必要がある。人材、体制、スキル、財源等様々な角度から検証し福島市全体の裨益となる組織を目指すための組織づくりをする。		事業費計	補助対象	自主財源
		1,000,000	0	1,000,000
(1) 新たな財源確保を目指すための研究活動				
昨今、日本各地で検討、実施が行われている「宿泊税」の導入。観光を通じた地域づくりのため、業界全体として地域の観光まちづくりのための新たな財源を検討する研究活動を実施。DMOを中心に、福島市に最適な施策をまとめ、市への提言を目指す。 観光庁事業の活用を予定。調査に当たっては外部有識者の招へいを行い、市内外の調査分析を加え、理事会及び協議会において議論を進める	事業費	補助対象	自主財源	
	1,000,000	0%	100%	
		0	1,000,000	

戦略区分：関係人口拡大

1. バリアフリーツーリズム		事業費計	補助対象	自主財源
福島市バリアフリーマスタープランが掲げる共生社会実現に向けて、専任者を中心に取り組む。ハードに対する助言はもちろんのこと、多文化共生社会実現に向けて大きな要素である住民の心のバリアフリー化に向けた啓発活動に注力する。		1,000,000	1,000,000	0
(1) 福島市バリアフリーマスタープランに則した活動				
観光寄りであった活動を、市民と来訪者双方にとってバリアのない状態を目指すための取組支援に軸足を移す。 ＜福島市バリアフリーマスタープランに則した取組（職員活動諸経費/人件費を除く）＞ 講演・協議会会議出席参加への旅費交通費 8回	事業費	補助対象	自主財源	
	400,000	100%	0%	
		400,000	0	
(2) 市内施設・事業者のハード/ソフト両面へのバリアフリーコンテンツの造成支援テストマーケティング活動				
JapanTravelAwards2021総合グランプリを含む3冠の栄誉を存分に活用した、福島市ならではのバリアフリーツアーの具現化を目指す。センター長の知見を活かした多様なバリアを乗り越え福島市を楽しんでもらうためのツアーや企画の検討。ダイバーシティ&インクルージョンを意識した活動	事業費	補助対象	自主財源	
	600,000	100%	0%	
		600,000	0	
(3) こころのバリアフリー県内普及活動				
多文化共生社会実現に向けて大きな要素である住民の心のバリアフリー化に向けた啓発活動に注力する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	100%	0%	
		0	0	0

2. 関係人口拡大支援		事業費計	補助対象	自主財源
観光は関係人口の初手であることから、観光を司る協会として、次の関係深化に向けた襁褓しをきちんと行うための意識向上を実践を通じて醸成する。		2,500,000	0	2,500,000
(1) 案内所の土日移住相談コーナー				
移住希望者等は、休日に物件確認をするため、飛び込みで対応できる窓口が、来訪者にとって交通の便が良いところに展開しておく必要がある。観光案内所に移住者インフォメーションを設置し、デジタル的に情報提供ができる体制を構築する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	0
(2) シティプロモーション支援				
シティプロモーションに対してマーケティング手法を用いた助言や活動支援を実施する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	0
(3) タレントプールに対する積極的な情報発信体制の構築				
タレントプールを用いてOwnedメディア、Earnedメディア、リアルメディアと紐づけたプッシュプロモーションを展開する。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	100%	0%	
		0	0	0
(4) 観光DXを活用した多様な属性顧客の統一管理とプロモーション施策を構築するためのCRM管理システムの構築				
ふるさと納税、来訪者アンケート（宿泊、ピーチホリデイ）等、この3年で延べ10万人の顧客情報を持つことができた。 寄附者リピーターや複数回の観光来訪者、消費額等様々な角度から福島市ロイヤルカスタマーの選定や、それら各属性別施策のためのCRM管理システムの構築した。そのシステムランニングコスト。あわせてPMS連携による宿泊施設との情報連携によるシステムのランニングコスト。	事業費	補助対象	自主財源	
	2,500,000	0%	100%	
		0	2,500,000	

3. 域内外の組織や個人との連携支援		事業費計	補助対象	自主財源
関係人口拡大を成功軌道に乗せるには様々なプレイヤーが共創して課題解決に取り組む効果の最大化が鍵を握る。共創社会に適合した組織としての市内外の認知を高め、組織としての体制を確たるものにするために、積極的に市外組織との連携を進める。		1,000,000	0	1,000,000
(1) 先進地域の理論・技術導入				
地域や地域事業者に利益をもたらすための組織として、全国平均に到達したと思われるが、風評を前提とした取組を余儀なくされる福島市のDMOは、今後またやむことなく国内外先進地域の理論や技術の導入を図る。また、世界レベルのDMO組織を目指すための観光庁施策「先駆的DMO」認定のための先進優良事例の調査から実践に取り組む。	事業費	補助対象	自主財源	
	500,000	0%	100%	
		0	500,000	
(2) 世界共通ツールを活用したオンラインプロモーションの市内事業者への普及教育				
GoogleMap（Googleビジネスプロフィール）等の地図検索サービスの利活用や、OTAによる商品販売スキルの向上を目的に、観光庁事業をうまく活用してデジタルマーケティングの基礎研修会を行う「DMO総合支援事業」の活用を予定	事業費	補助対象	自主財源	
	500,000	0%	100%	
		0	500,000	
(3) 女性マーケティング専門組織との連携による根拠あるターゲット設定				
国内外のデータでは、旅行などの消費意思決定は女性が圧倒的多数を占め、女性に刺さらなければビジネスとして成立しない時代となっている。マーケティング重視型経営のロールモデルとして地域事業者に範を示すため、女性ペルソナ分析で高評価を得ている事業者と積極的に連携し、福島市内の商材を踏まえた、福島の素材が刺さる可能性が高い商材やサービス・政策を明らかにする。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	

4. 共創の仕組みづくり		事業費計	補助対象	自主財源
関係人口拡大を成功軌道に乗せるには様々なプレイヤーが共創して課題解決に取り組む効果の最大化が鍵を握る。共創社会に適合した組織としての市内外の認知を高め、組織としての体制を確たるものにするために、積極的に市内組織との連携を進める。		0	0	0
(1) 市民参加型キャンペーン				
肩肘を張らない個々の『地域貢献への参画』の道筋をつけるための試験的展開と位置付ける。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	
(2) 説明会・講演会の積極的実施				
協会活動の理解促進のための説明会を行いながら、観光に対する市民の理解醸成と住民参画意識の醸成を試みる。観光コンテンツの造成活動とも連動し、協業の仕組みの構築にもつなげる。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	
(3) 会員制度改編と理念共感型新規会員獲得				
関係人口と観光来訪は深い相関関係にあることを踏まえれば、より多様なプレイヤーの関与が重視され、会費制度を見直し、多様な会員が参画できる体制へと変更を行う。	事業費	補助対象	自主財源	
	0	0%	100%	
		0	0	

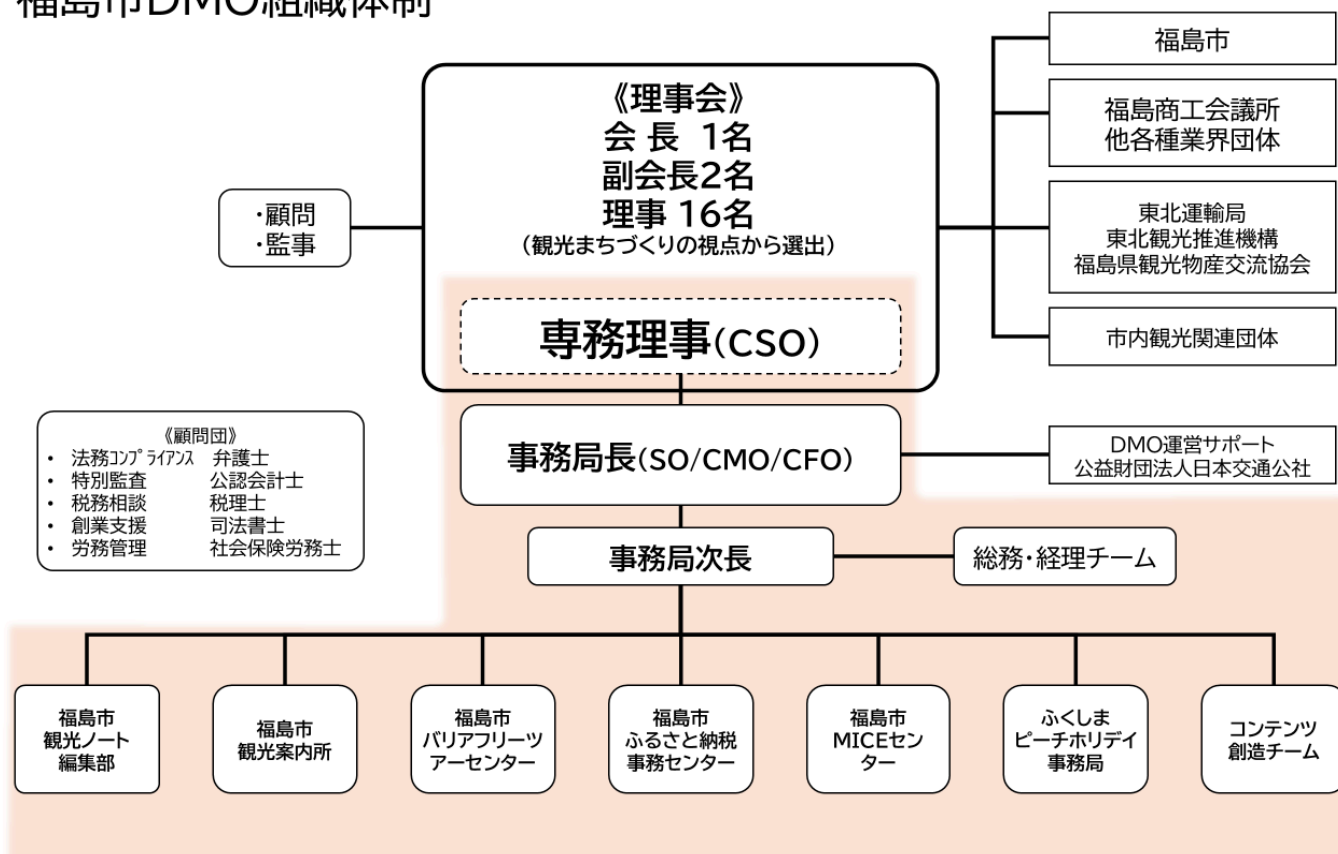
1. マーケティングに基づく、デジタル～リアルまで通貫した福島市への認知・理解・共感を意識した交流・関係人口の拡大 消費者マインドをマーケティング分析に基づいて的確に捉え、地域や市内事業者の課題と消費者動向を的確につなげるための方策を講じる。キーワードは、「女性マーケット」と「ペルソナマーケット」。	事業費計	補助対象	自主財源
	14,394,000	9,699,000	4,695,000
(1) 自社記事発信型WEBサイト「福島市観光ノート」運営			
消費者の急速なモバイルデジタル化に合わせ、市内事業者やプロジェクトへの来訪と消費を誘引するための入口機能とガイド機能を強化する。 <観光ノート管理、共感想起型記事配信（月8本）、ドメイン管理（12か月）、ページ改修（年1回）>	事業費	補助対象	自主財源
	5,000,000	100% 5,000,000	0% 0
(2) SNSの更なる機能強化			
プロカメラマンによる発信力の強いビジュアル（画像、動画）を活用したSNS発信を行う。<観光ノート連動型SNSコンテンツ撮影（70コンテンツ）>	事業費	補助対象	自主財源
	500,000	0% 0	100% 500,000
(3) 人対人による交流接点の更なる強化（観光案内所）			
観光案内所を関係人口拡大のインターフェースとした取組で、来訪者に対して、市内事業者やプロジェクトに対して積極的にマッチングする。 <市民多言語コンシェルジュ（平日2人）、大学生版コンシェルジュ（週末2人）、観光案内所OMO型POP展開>	事業費	補助対象	自主財源
	3,650,000	70% 2,555,000	30% 1,095,000
(4) UGC獲得とそこからの循環を最大化するための利用者発信SNS分析調査の最大化			
良い評価、良くない評価を問わず、口コミを奨励することで、消費・来訪意欲を向上させる。<ソーシャルメディア分析システム「ソーシャルインサイト」利用料（12か月）>	事業費	補助対象	自主財源
	600,000	0% 0	100% 600,000
(5) ふるさと納税を介した誘客促進強化			
ふるさと納税寄付者に対する福島市来訪動機を醸成し、来訪に繋げる。 <来訪誘引用プッシュカード制作（100,000枚）、来訪誘引を目的としたフリークエンスカード構想研究>	事業費	補助対象	自主財源
	0	0% 0	100% 0

(6) リアルイベント商談会や販売会等の参加による、福島市域外での観光・物産プロモーション活動			
ビーチホリデイ、暮らすように旅をするの世界観をリアルに訴求する活動を計画、観光だけではなく、移住定住、ふるさと納税、等関係人口、交流人口、定住人口それぞれの角度から総合的にアプローチをする。 あわせて、物産振興への活動へも着手し、販売会等の機会を調達、市内事業者との連携活動を行う。	事業費	補助対象	自主財源
	2,000,000	0%	100%
		0	2,000,000
(7) 有料デジタル広告や既存媒体広告の混合展開			
キュレーションメディア（まとめサイト）、YOUTUBE、LINEのミックス広告プロジェクト ＜YOUTUBE・LINE広告（4シーズン各1回／1週間集中／リスティング）、YOUTUBE広告制作（年4本）、キュレーションメディアオンラインリリース（年24本）＞	事業費	補助対象	自主財源
	0	0%	100%
		0	0
(8) マーケティングの融合による誘客促進を目的とした勉強会			
OMOマーケティング手法を観光関連団体と共有し、各地域のコンテンツを売るべき相手、欲しがるとマッチングする。＜マーケティング研究会講師代＞	事業費	補助対象	自主財源
	500,000	0%	100%
		0	500,000
(9) 仮想と現実のマーケティングの融合による誘客促進管理			
ふるさと納税寄付者、デジタルアンケート調査回答者、各会員が抱えるユーザーをLINEにてタレントプール管理し、Ownedメディアと連動したLINE版『ふくしまだより』でプッシュプロモーションする。 ⇒CRMシステム構築事業と連携	事業費	補助対象	自主財源
	0	0%	100%
		0	0
(10) 新幹線来訪者へのウェルカム演出（列車発車メロディ）			
福島駅を利用する市民及び来訪者に福島市を代表する音楽を届ける（発車メロディ使用料）	事業費	補助対象	自主財源
	44,000	100%	0%
		44,000	0
(11) 福島市観光ガイドブックの制作			
福島市観光ガイドブック、マップ、花見山ガイドマップなど、各種イベントやコンベンション等で効果的に情報を伝え、市内への経済循環が回るために、常に在庫を必要十分に用意。	事業費	補助対象	自主財源
	2,100,000	100%	0%
		2,100,000	0

1. MICE（コンベンション等誘致）		事業費計	補助対象	自主財源
協会内コンベンションビューロー組織体制の確立と、より具体的な攻めの体制作りと活動を推進する。		3,000,000	3,000,000	0
(1) 誘致対象コンベンション情報の整備（情報収集・分析）				
福島市で開催する意義のあるコンベンション組織（学会、大会、国際会議）のターゲットに関する情報を収集し、システムへ蓄積する（次年度以降も継続的に行うこと）	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(2) MICE誘致に係るタレントプールコミュニティの構築				
学会/国際会議誘致のアンバサダー的存在となり得る、大学研究者や組織団体代表等の情報を収集し、誘致に向けた市内の協力者情報を蓄積する	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(3) 福島市MICE情報発信ツールの整備				
誘致活動に必要な発信ツールの制作（HP、紙パンフレット）。インバウンド誘致施策と連動させ、無駄なく且つ効率的な方法を模索する。	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(4) 国内のMICE商談会・展示会への積極参加と有力コンベンションキーマンへの積極的なアプローチ				
(1)の対象コンベンションの決定権者等へのプロモーション、会議主催者等が集まるイベントへの積極参加による認知拡大を図る	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(5) JNTO、JCCB、県及び県内ビューローとの連携強化				
より広い情報収集やタッチポイントの拡大のため、関連組織との情報交換を深める。また、県内連携で大型MICE誘致へ挑戦をする	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(6) 国際組織との連携				
福島だからこそそのMICEを発信するための国際連携構築〔国際会議観光都市、Hybrid City Alliance加盟準備、ICCA加盟による国際MICE情報の収集分析〕	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(7) 福島市ユニークベニュー開発				
MICE開催時の福島市の魅力を伝えるコンテンツ開発と大都市開催国際MICEからのエクスカースション誘致を目的に、浄土平や民家園、旧堀切邸等の市内地域資源をブラッシュアップしコンテンツ化を目指す。また、ホープツーリズム（インバウンド版）の整備等、福島市を中心に近隣の資源との連携も強化させる〔コンテンツ開発〕	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(8) 市内コンテンツホルダー、関連事業者のネットワーク構築				
今後のMICE誘致～開催に際し、市内事業者の活動協力は必須。直接関わりの発生する可能性の高い業界事業者（PCO、旅行会社、ホテル、旅館、制作会社、看板、印刷、ケータリング会社等）をによる意見交換やMICE誘致の意義や将来像を共有する研修会を開催。	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(9) ポストコロナに則した開催助成金や戦略的投資型補助金等の施策の検討				
これまでの他自治体横並びの宿泊人員ベースの開催補助金だけではなく、福島市で開催するメリットが主催団体や参加者だけではなく、地域への還元にもつながる施策展開を検討する。経済的波及効果だけではなく、市民に対しての高度な知識や発見に触れる機会の創出等。	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	
(10) 文化・スポーツMICEの誘致支援				
市の実施、文化・スポーツ関連部署の誘致したイベントや合宿誘致等、統合的に情報を網羅し、内・外の情報や・プロモーションツールを共有化していく。	事業費	補助対象	自主財源	
	-	100%	0%	

第3章 組織体制／事務局体制

福島市DMO組織体制



事務局体制：VISION2030を推進するプロフェッショナル集団

経営・マネジメント層

会長代理：三浦 裕治

組織全体の運営責任者として、協会全体の管理を行う

専務理事(CSO)：清野 正紀

戦略責任者として、経営の取りまとめや政務調整機能を担う

事務局長(SO/CMO/CFO)：

横葉 純一 事務局事業実行責任者。地域共感イノベーション、ふるさと納税、MICE誘致、経理の各業務責任者

次長：高橋 康

総務業務担当。中華圏市場インバウンド誘客推進を担当。

総務・経理チーム

チームリーダー：木戸 美由紀

経理及び総務全般を担当し、組織の安定的な運営基盤から支える

地域共感イノベーションチーム

編集部リーダー：横山 佳代

「福島市観光ノート」編集部のリーダー。地域への共感を生む情報発信を統括。

プロデューサー：高橋 ちひろ

プロモーション・イベント企画運営の他、コンテンツ作成はじめ事業全体推進

ディレクター：金澤 千裕

「ロケツーリズム」推進担当。「ふくしまピーチホリデイ」事業推進

データマーケティング：三宅 晃司

ディレクター
データ分析とデジタルシステム構築。宿泊OTA、CRM活用プロジェクト推進

スタッフ：國分 桃香

ふくしまピーチホリデイ事業運営担当。ロケツーリズム担当

MICE誘致チーム

チームリーダー：村田 崇

国際会議や学会などのMICE誘致を専門に担い、地域への経済波及効果の最大化や、世界の知の地域への還元を推進。

おもてなしチーム (観光案内所)

リーダー(所長)：柳沼 亜希

福島市観光案内所の所長として、来訪者への対面でのおもてなしを統括

スタッフ：沖澤 舞子

福島市観光案内所運営。案内所内の各種企画を担当。

パートスタッフ：

朽木 紀子、野崎佐知、石川智子
案内所でのハイタッチ型の交流を通じて来訪者を迎えます

バリアフリーツアーセンター長：

佐藤 由香里
あらゆる人が安心して観光を楽しめるよう、バリアフリー観光の普及と案内を推進

ふるさと納税チーム

チームリーダー：ガラール 真紀

ふるさと納税を通じた外貨獲得と関係人口拡大のためのチーム運営を統括

サブリーダー：遠藤 知恵美

リーダーをサポートし、ふるさと納税事業の円滑な遂行を管理

チームスタッフ

加藤 美由貴、船山 花奈、須藤 梓、野地 美咲登、小松 なるみ
地域事業者支援及び寄付者への丁寧な対応をします

令和8年度 収支予算書

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日

一般社団法人福島市観光コンベンション協会 収支予算書
(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(収入の部)				
科目	令和8年度 予算額(a)	前年度 予算額(b)	増減 (a)-(b)	備考
I 事業活動収入				
1 受取会費	3,300,000	3,300,000	0	
(1) 会員会費収入	3,300,000	3,300,000	0	
2 事業収入	144,998,000	136,706,000	8,292,000	
(1) 受託事業収入①	18,798,000	13,106,000	5,692,000	
① 令和8年花見山観光客対応業務	6,400,000	6,356,000	44,000	
② 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務	0	1,600,000	▲1,600,000	
③ ふくしまの特産品魅力発信等 魅力拡散キャンペーン業務	1,180,000	1,180,000	0	
④ 福島市バリアフリーマップ更新業務	1,970,000	1,970,000	0	
⑤ 「福島市観光共創戦略」策定業務	0	2,000,000	▲2,000,000	
⑥ 台湾プロモーション事業業務	2,000,000	0	2,000,000	
⑦ 福島駅東口AI観光案内運営業務	7,248,000	0	7,248,000	R7年度は運営費補助
(2) 受託事業収入②	115,200,000	121,600,000	▲6,400,000	
① ふるさと納税運営業務	115,200,000	121,600,000	▲6,400,000	寄附額の約6.4% (寄附額目標 18億円)
(3) 販売事業収入	11,000,000	2,000,000	9,000,000	
① 案内所物販収入	1,400,000	1,400,000	0	ももりんグッズ、特産品
② 案内所幹旋等収入	300,000	300,000	0	宿泊、タクシー、旅行
③ 案内所バリアフリー運営収入	100,000	100,000	0	車いす貸出、常設物販
④ 案内所その他収益収入	200,000	200,000	0	ももりん着ぐるみ貸出、キャラクター 利用料、受託業務、コピー代等
⑤ 浄土平スカイアクセス販売収入	8,000,000	0	8,000,000	
⑥ 大ゴッホ展キッチンカー運営収入	1,000,000	0	1,000,000	
3 受取補助金等	84,506,000	76,005,000	8,501,000	
(1) 市補助金	84,506,000	76,005,000	8,501,000	
① 福島市組織運営補助金（観光）	75,661,000	67,097,000	8,564,000	
② 福島市組織運営補助金（MICE）	8,845,000	8,908,000	▲63,000	
(2) 国・県 他 補助金	0	0	0	
4 受取寄附金等	0	0	0	
(1) 受取寄附金	0	0	0	
5 雑収入	0	16,008	▲16,008	
(1) 雑収入	0	16,008	▲16,008	
① 受取利息収入	0	16,008	▲16,008	
② 雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	232,804,000	216,027,008	16,776,992	
前期繰越収支差額	0	628,992	▲628,992	
収入合計(A)	232,804,000	216,656,000	16,148,000	

(支出の部)

科目	令和8年度 予算額(a)	前年度 予算額(b)	増減 (a)-(b)	備考
I 事業活動支出				
1 事業費支出				
(1) 受託事業運営支出①	17,400,000	13,106,000	4,294,000	
① 令和8年花見山観光客対応業務	6,000,000	6,356,000	▲356,000	
② 福島駅前軽トラ市情報発信事業業務	0	1,600,000	▲1,600,000	
③ ふくしまの特産品魅力発信等 魅力拡散キャンペーン業務	1,000,000	1,180,000	▲180,000	
④ 福島市バリアフリーマップ更新業務	1,600,000	1,970,000	▲370,000	
⑤ 「福島市観光共創戦略」策定業務	0	2,000,000	▲2,000,000	
⑥ 台湾プロモーション事業業務	1,800,000	0	1,800,000	
⑦ 福島駅東口AI観光案内運営業務	7,000,000	0	7,000,000	
(2) 受託事業運営支出②	37,000,000	32,000,000	5,000,000	
① ふるさと納税運営業務	37,000,000	32,000,000	5,000,000	一部人件費は管理費で計上
② 返礼品開催以西送料負担分	0	0	0	
(3) 販売事業支出	10,400,000	1,000,000	9,400,000	
① 案内所関連販売支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
② 浄土平スカイアクセス販売支出	8,000,000	0	8,000,000	
③ 大ゴッホ展キッチンカー運営	400,000	0	400,000	
(4) 地域貢献活動事業支出-「外貨獲得」	15,550,000	15,550,000	0	
① ビーチホリデイをフックとした誘客促進	5,500,000	5,000,000	500,000	ビーチホリデイ・アップルホリデイ
② 訪日需要拡大を見据えた誘客促進	5,550,000	6,550,000	▲1,000,000	台湾・タイプロモーション
③ 体験商品づくり・販売促進	2,000,000	1,500,000	500,000	
④ 来訪者が循環する仕組み作り	500,000	500,000	0	
⑤ デジタル時代の効果的な誘客を支える データ収集・解析・分析	2,000,000	2,000,000	0	
(5) 地域貢献活動事業支出-「内発循環」	3,800,000	4,300,000	▲500,000	
① ふるさと納税20億円プロジェクト	1,000,000	1,500,000	▲500,000	
② 果実規格外品供給仕組みづくり	1,800,000	1,800,000	0	
③ DMO組織の運営安定化を見据えた仕組みづくり	1,000,000	1,000,000	0	
(6) 地域貢献活動事業支出-「関係人口拡大」	4,700,000	4,900,000	▲200,000	
① バリアフリーツーリズム	1,000,000	1,500,000	▲500,000	
② 関係人口拡大支援	2,500,000	2,600,000	▲100,000	
③ 域内外の組織や個人との連携支援	1,000,000	800,000	200,000	
④ 共創の仕組みづくり	0	0	0	
⑤ ロケツーリズム	200,000	0	200,000	
(7) 地域貢献活動事業支出-「認知・理解・共感獲得」	14,394,000	20,210,000	▲5,816,000	
① マーケティングに基づく関係人口の拡大			0	
(a-1) WEBサイトの機能強化(観光ノート)	5,000,000	5,000,000	0	
(a-2) 観光ノート多言語化改修	0	300,000	▲300,000	
(b) 福島市観光ノート機能改修	0	0	0	
(c) SNS活用の強化	500,000	500,000	0	PR素材収集、撮影
(d) 交流拠点(案内所)の機能強化	3,650,000	3,650,000	0	市補助▲1,100千円のため、自主予算投入
(e) SNSの分析調査	600,000	600,000	0	ソーシャルインサイト
(f) ふるさと納税を介した誘客促進強化	0	500,000	▲500,000	
(g) リアルプロモーション活動	2,000,000	5,000,000	▲3,000,000	
(h) 有料デジタル広告/既存広告の告知展開	0	500,000	▲500,000	
(i) 誘客促進を目的とした勉強会	500,000	110,000	390,000	
(j) 誘客促進管理	0	0	0	
(k) 福島駅ウェルカム演出	44,000	50,000	▲6,000	新幹線ホーム発車メロディ
(l) 福島市ガイドブック制作	2,100,000	3,000,000	▲900,000	市補助▲900千円
(m) 【ふくしまDC】 おもてなしグルメマップ制作	0	1,000,000	▲1,000,000	
(8) MICE誘致活動	3,000,000	3,000,000	0	
① 情報の整備(情報収集・分析)	300,000	300,000	0	
② 情報発信ツールの整備	1,000,000	1,000,000	0	
③ MICE商談会・展示会への積極参加と キーマンへのアプローチ	1,200,000	1,200,000	0	
④ 国際組織との連携	150,000	150,000	0	
⑤ ユニークベニュー開発	350,000	350,000	0	
事業費支出合計	106,244,000	94,066,000	12,178,000	

科目	令和8年度 予算額(a)	前年度 予算額(b)	増減 (a)-(b)	備考
2 管理費支出				
(1) 管理費支出-事務局	108,765,000	104,323,000	4,442,000	
① 給与手当	68,655,000	62,597,000	6,058,000	委託職員3名分は諸謝金/委託費で計上
② 退職給付金支出	1,632,000	1,596,000	36,000	
③ 福利厚生費	0	0	0	
④ 法定福利費	9,389,000	11,320,000	▲1,931,000	
⑤ 会議費	400,000	400,000	0	
⑥ 旅費交通費	500,000	500,000	0	
⑦ 渉外費	180,000	180,000	0	
⑧ 広告宣伝費	279,000	0	279,000	新聞広告等
⑨ 通信運搬費	1,350,000	1,350,000	0	
⑩ 消耗品費	1,500,000	1,500,000	0	
⑪ 新聞図書費	20,000	20,000	0	
⑫ 修繕費	100,000	100,000	0	
⑬ 印刷製本費	350,000	350,000	0	
⑭ 燃料費	100,000	100,000	0	
⑮ 光熱水料費	450,000	450,000	0	
⑯ 賃借料	1,500,000	1,500,000	0	
⑰ 地代家賃	2,600,000	2,600,000	0	
⑱ 火災保険料	560,000	560,000	0	
⑲ 諸謝金費	9,300,000	10,500,000	▲1,200,000	委託職員2名分
⑳ 租税公課	2,200,000	2,200,000	0	
㉑ 負担金	2,000,000	2,000,000	0	
㉒ 委託費	3,000,000	3,000,000	0	委託職員1名分
㉓ 支払手数料	2,500,000	1,500,000	1,000,000	職員スキルアップ研修費用など
㉔ 寄付金	0	0	0	
㉕ 支払利息	0	0	0	
㉖ 雑支出	200,000	0	200,000	
(2) 管理費支出-案内所	9,710,000	9,260,000	450,000	
① 福利厚生費	0	0	0	
② 広告宣伝費	200,000	0	200,000	
③ 旅費交通費	150,000	0	150,000	研修参加旅費
④ 通信運搬費	460,000	460,000	0	
⑤ 消耗品費	700,000	700,000	0	
⑥ 新聞図書費	100,000	100,000	0	
⑦ 修繕費	300,000	300,000	0	
⑧ 光熱水料費	900,000	900,000	0	
⑨ 賃借料	700,000	700,000	0	
⑩ 地代家賃	5,800,000	5,800,000	0	
⑪ 委託費	0	0	0	
⑫ 支払手数料	300,000	300,000	0	
⑬ 雑支出	100,000	0	100,000	
(3) 法人税、住民税など	8,000,000	8,000,000	0	
① 法人税、住民税など	8,000,000	8,000,000	0	
管理費支出合計	126,475,000	121,583,000	4,892,000	
事業活動支出合計	232,719,000	215,649,000	17,070,000	
事業活動当期収支差額	85,000	378,008	▲293,008	
3 予備費支出			0	
① 予備費支出	85,000	1,007,000	▲922,000	
支出合計(B)	232,804,000	216,656,000	16,148,000	
次期繰越収支差額(A)-(B)	0	0	0	